

# 扁桃腺の話

醫學博士 廣 瀨 興

幼児が幼稚園に入園し、或は兒童が小學校に入學し、先づ體格検査を受ける。そして、よく「扁桃腺肥大」といふ診断を通告簿に記るされるものが多い。家庭ではそれに對して如何すればよいか適當の指示を望むのが當然である。

扁桃腺にも色々ある。

一般の人が扁桃腺といつてゐるのは、普通口蓋扁桃腺のことで、口腔を開いて奥の方を見るに、咽喉の入口で、上の方は懸雍垂、兩側には皺襞がある。その皺襞の處に一つの腺様組織がある。唾液腺や涙腺の如く外へ分泌する機能をも有する組織、または甲状腺や副腎の様に内部の血液の中に一種の分泌をする組織、即ち内分泌腺といふ。一般に腺組織といつて居るが、扁桃腺もこの一種の腺組織である。

この口蓋扁桃腺を普通單に扁桃腺といつてゐるが、實は

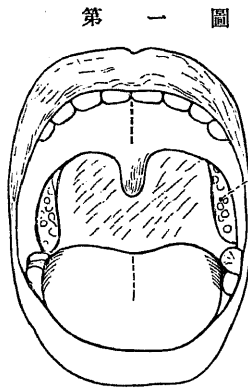
扁桃腺は兩側の口蓋ばかりではなく、舌根部にも又鼠咽腔部にもあるので、三種の腺様組織、即ち口蓋扁桃腺、舌根扁桃腺、及び咽頭扁桃腺と丁度咽喉を輪狀に取り巻いてゐて、之をワルダ

口蓋扁桃腺

イエル氏咽頭環といつてゐる。

さういふ役目をするか。

この三種の扁桃腺は他の色々な



腺組織と同様に、何等かの生理的作用があるのであらうといはれて、今日まで色々な研究されてゐるにも拘らず、未だにはつきりした定説はない。昔はこれを胎生期の遺残物

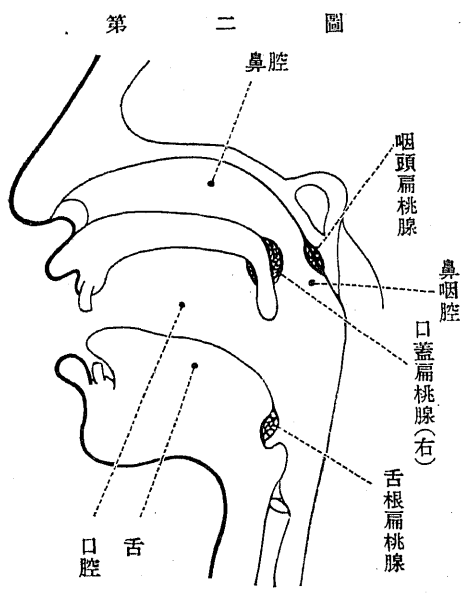
だらうといつたり、或は嚥下作用を滑らかにする爲に粘液性のものを分泌するものだしいつたり、或は消化作用を援助するものだしか、或は唾液、鼻汁、涙液の過剰の場合に吸収するところだ、なごこいはれたが、現今では信じられて居らぬ。又血液中の異物や細菌を濾過して外部に排泄するところであらうといつた時代もある。近頃では甲状腺の様一種の内分泌機關であらうと稱する説もある。而しこれも信するに足りない。それで最近ではこの扁桃腺は生理の場合には身體に何かしら一種の保護作用をするといはれてゐる。ところがこれは非常に病的に變化し易く、病的になつた場合には、却つて身體に有害な作用を及ぼすといはれて居る。

この扁桃腺は五歳乃至十歳の間に段々増殖して來るが、尙一層成長するに隨つて萎縮するのが普通である。處が萎縮の傾向なく、段々増殖肥大して行く場合は、色々身體に障礙を起して來る。其の時に始めてこれを切除するに、剔出するに、或は其の他色々の手當をすることに、其れるのであるが、扁桃腺のあるのは生理的であるから、其れ

が病的になつたか、ならぬかを判断して處置しなければならぬのである。

### 扁桃腺肥大

扁桃腺の病的の状態は、先づ口蓋扁桃腺を述べますが、普通に扁桃腺肥大といふのがこれのことで、小學校の體格検査などで一番注意される疾病である。前述の様に扁桃腺が單に肥大して居るだけでは病的とは云はれないので、



色々身體に障礙を起す場合に病的ミ云ひ得るわけであつて、この扁桃腺の肥大に二種類ある。即ち一つは單純な肥大で、これは

感冒や其の他色々の熱性病の時に罹り易い。又デフテリアであるとか、百日咳であるとかの疾病の時に、冒されやすい。そしてこれは又後述する慢性扁桃腺炎に移行する虞れがあるから注意しなければならぬ。

この病氣に罹るミ口で呼吸をしたり、睡つてゐる時に鼾聲を立てたり、睡眠が防げられる、難聽になつたりする。

これは歐氏管が塞がれて鼻ミ耳ミの流通が害されるからで、尙一層ひきくなるミ、呼吸困難になり、屢々咽喉を痛め易く、ちよつミ寒いミ風邪に罹つたり、發熱したりする。斯様な症状を始終繰り返す場合には扁桃腺の手術を行つた方がよい。扁桃腺手術には、切除ミ抉出ミの二つあるがこの肥大の場合には切除でよい。又レントゲンで治療する場合もある。

### 慢性扁桃腺炎

今一つの口蓋扁桃腺肥大は慢性扁桃腺炎といつて居る。

これは前述の扁桃腺肥大ミ違つて自覺的症狀が割合に少い。而し咽頭に始終異常な感じがあつて氣持が悪い。又頭のミところを常に壓迫される感じがして、不愉快である。これが尙大きくなれば、前のミ同様に、嚥下困難ミなり、鼾聲をたてたり、發熱したりするのは勿論である。そして風邪が流行するミ一番先に罹るミか、或はデフテリア、百日咳に罹り易いミこなきは扁桃腺肥大ミ同じである。

この慢性的な扁桃腺炎は、單純な扁桃腺炎の如く切除しただけでは仲々治癒が出来ない。この場合には扁桃腺を抉出す。即ち根元から抉つて取つて終はなねばならぬ。それを只切除しただけにするミ再發する。よく扁桃腺を取つてしまつたけれども、又同じ様な症状が残つて居るミいふのは、抉出しないからで、慢性の場合はすつかり抉り取つてしまふ事が必要である。

### アデノイド

次に咽頭扁桃腺肥大であるが、これは謂ゆる腺様増殖症

さいひ、またアデノイドもいつて、扁桃腺肥大や慢性の口蓋扁桃腺炎と共にワルダイエル氏の咽頭環の一部分をなして居るもので、小児の間は増殖の傾向をもつて居るが、大人になるに随つて萎縮して来る。ところが子供の體質によつて、年齢が長ずるにも拘らず、却つて肥大の徴候を示して来るこゝがある。其の原因はつきりしないが、慢性の刺激なき一つの原因で、そればかりでなく何等か體質によるらしく、そういう體質をもつて居る子供に起るので、随つて兄や姉にあるこゝ次の子供にもあるさいふ様に、家族的に來る場合を屢々見受けられる。

この腺様増殖が段々増大して來るこゝ、局所的には鼻が詰つて來る。即ち鼻閉塞を起す爲に、口で呼吸するやうになり、就中睡眠中鼾をする。そして睡眠が不安になり、随つて疲労し易い。そして聲に反響を失ひ閉塞性鼻音をいつて鼻の詰つたやうな聲をする。これが乳兒の場合には鼻から呼吸が出來ないので、非常に哺乳が苦しくなつて來る。肩を始終開けてゐて、顔面の筋肉が弛緩して間の抜けた様になり、終りには鼻根が扁平になり、眼瞼は下垂して生氣乏

しく、一種獨特な顔貌をしてゐるから、高度なものは一見して分る。それから尙耳に影響して、中耳カタルや難聽を起し甚だしい場合には口が始終開いてゐる爲に、上唇が變形して齒列が不整になり、息苦しい爲に胸廓が鳩胸になり、食事に際して咀嚼不十分の爲、胃腸障礙を來すこゝになり、終には精神の集中が困難になつて、記憶力減退し、非常に疲労し易く、随つて學業成績が不良になる。又夜尿症になり甚だしきは癲癇様の發作を起す場合もある。

この腺様増殖の場合は特別それによつて障礙がなければ手術する必要がないけれども、耳が遠くなつたこゝか、或は鼻が詰るこゝか、口で呼吸をするこゝか、睡眠が不安になるこゝか、記憶が衰へるこゝいつた様な場合には手術した方がよろしい。

### 手術するか否かの判断

これ等全體の扁桃腺肥大症の子供は、前述の如く特別の體質をもつて居るのであつて、この對應策としてはさうしても體質を改造するさいふ事が一番大切な眼目である。そ

れには平常一般の榮養や、その他保健上の注意をすることが肝要で、食物の遍食を無くするとか、日光浴をするとか、塵埃や煤煙などの少い清淨な空氣を吸はせる様に注意しなければならぬ。尙斯様な子供は所謂腺病質の體質を持つて居る事が多いから、以上の注意の他に肝油を服用させるとか、その他腺病質に對する注意をしなければならぬ。尙五、六歳の頃に一度よく専門醫に診せ、大體の指導を受けて置くことが必要である。それから後一、二年して前の醫師にもう一遍診察を受け、前の時と再度の検査の時の様子を比較して貰ひ、さうも小さくなる傾向がないとか、又腺増殖の爲の症狀が増加して来るやうな傾向があるならば、そこで始めて小學校に行く前の六、七歳頃に切除なり抉出を行ふことが必要で、若し萎縮の傾向があれば必ずしも手術を行はなくてもよいと思ふ。それは扁桃腺の生理作用といふものに定説がなく、或は案外身體にまつて有利な作用を有して居るかも知れないから取らずに濟むものならば其の儘にして置く方がよい。而し増殖の傾向があれば幼兒期には左程のことは無くとも、學齡期には色々前述の症

狀の爲に身體ばかりでは無く、智能上にも影響を來すから、學齡前に適當の處置をするといふことは非常に大切な事だらうと思ふ。

#### イマジネーションスキトピー

あまりにも有名な菊池先生のスキトピー。毎日コッソリ飽かず眺めてゐらつしやる菊池先生。この處なか〜御苦心の態。

バケツに何杯も水をおやりになつて見たり、肥しをおやりになつて見たり、あたりを見廻してから、蔓を引張つて御覽になつたり、根元をお掘りになつたり（地上に表れる部分が一分でも高くなりませう）。それから……。まるで誰れかさんが唯一人、鏡の前に、低いお鼻が少しでも高くなる様にと、御白粉をゆつて見たり、剃して見たり、つまんで見たり頬つべたをおさへて見たりするのと同じわけ。

ほんとに、スキトピーがアメで出来てゐればよろしく御座いますのにね。